

<b>科目名</b>	<b>物理</b>	科目コード 10160
------------	-----------	----------------

<b>学科名・学年</b>	全学科 2年	<b>担当教官</b>	新井(一般)M2,E2,Mb2 松永(一般)Ec2,篠崎 Mb2,Ci2		
<b>単位数</b>	2単位・必履修	<b>開講期間</b>	通年	<b>時間数</b>	60時間
				<b>内訳</b> <small>(時間)</small>	講義(52), 演習(5) 実験(1), その他(2)
<b>教科書</b>	兵頭 申一, 福岡 登 編: 高等学校 物理 (啓林館)				
<b>補助教材</b>	プリント				
<b>参考書</b>					

<b>A 科目の概要</b>	
古典物理学における運動方程式の思考過程, 即ち, 事象における原因と結果との関係を論ずることを中心として, 自然界に見られるいろいろな事象を考察することを学ぶ。	
<b>B 到達目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動方程式の思考過程の概念を理解する。</li> <li>・基本的な運動の定量的な取扱を修得する。</li> <li>・異なる分野の様々な事象に対しても, 根底には物理の基本法則が存在することを理解する。</li> </ul>	
<b>C 長岡高専の学習・教育目標との対応</b>	
<b>D 履修上の注意</b>	
思考過程を最も大切とする物理の本質的な理解は, 公式等の暗記だけではカバーすることができない。地道な予習と復習が内容理解のキーポイントである。	
<b>E 評価方法</b>	
前期・後期とも中間および期末に計4回の試験を行う。授業中に適宜問題演習を行い, 授業へ取り組む態度も評価に加味する。	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	ガイガンス / 生活と電気	
2	物体の運動	
3	物体の運動	
4	物体の運動	
5	力と運動	
6	力と運動	
7	力と運動	
8	中間試験	
9	答案の返却と解説 / 力と運動	
10	仕事とエネルギー	
11	仕事とエネルギー	
12	仕事とエネルギー	
13	仕事とエネルギー	
14	これまでの復習	
15	試験	
16	答案の返却と解説 / 熱とエネルギー	
17	熱とエネルギー	
18	熱とエネルギー	
19	いろいろな波	
20	いろいろな波	
21	いろいろな波	
22	音波	
23	中間試験	
24	答案の返却と解説 / 音波	
25	音波	
26	光	
27	光	
28	光	
29	試験	
30	答案の返却と解説	